

ニュースセンター

No. 361

発行 2009年6月10日

PCB 廃棄物処理施設の操業状況 日本環境安全事業(株)(JESCO)

日本環境安全事業(株)(JESCO)は平成21年3月31日、PCB 廃棄物処理事業検討委員会を開催し、平成20年度におけるPCB 廃棄物処理施設の操業状況を公表しました。

全国5箇所の事業所(北海道、東京、豊田、大阪、北九州)における平成20年度(20年4月~21年2月)の合計処理量および操業開始からの累計処理量は、以下の通りです。

<平成20年度>

・トランス類 988台 ・コンデンサ類 12,235台
・PCB油類 339本* ・PCB分解量 582.2t

<累計>

・トランス類約 2,600台
・コンデンサ類約 29,000台
・PCB油類約 820本* ・PCB分解量約 1,320t
(*:ドラム缶(200L)により搬入及び処理された数量)

事業所により操業開始以来順調に処理が行われている事業所や、PCB漏洩事故などにより操業停止した期間がある事業所など状況は様々ですが、現在すべての事業所が稼動しています。

また、全体を通してみると年々処理数は増加傾向にあるものの、処理の進捗状況は登録台数の30%未満となっています。今後、各事業所において処理量の増加に向けた対策を行っていく予定です。

当社では、絶縁油中のPCB分析について多検体、短納期の体制で行っており、多くのお客様からご依頼を頂いております。是非お任せ下さい。

資料 JESCO HP PCB廃棄物処理事業検討委員会より

クロマト分析箇所 神村悠介

～お知らせ～

「2009 The Knights 講演会 inさいたま」のため7月2日(木)の業務は午後1時までとさせていただきます。



The Knights
The Knights

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪2051番地2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

新規9物質をPOPs条約に追加

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約(以下、POPs条約)の第4回締約国会議(COP4)が平成21年5月4日から8日まで開催され、新たに9種類の物質が同条約の付属書に追加されることが決定されました。これらの物質については、今後、国際的に協調して廃絶・制限に向けた取り組みを行うことになります。

これら9物質について原則製造・使用を禁止しましたが、パーカルオロオクタンスルホン酸(PFOS)とその塩については、日本も含め現時点で代替の見通しの立たない用途があることから、半導体用途や金属メッキなどへの使用が適用除外の付属書B(制限)に追加することとし、代替技術の開発を進めつつ、将来的な廃絶に取り組んでいくこととなりました。日本としても、条約で認められた範囲で日本国内に必須の特定の用途について適用除外の登録等を行う予定となっており、今後、化審法等の国内担保法体系においても、その内容及び管理のために必要な措置等が規定されることとなります。

当社では、化学分析専門会社として36年の経験と実績があり、PFOSを始めとして様々な化学物質の分析を行っておりますので、是非ご相談ください。

資料 2009年5月12日付 環境省HP

2009年5月13日付 環境新聞

クロマト分析箇所 山田悠貴

下記の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

1. CPSC 製品リコール通知の規則を提案
2. デカBDEの報告書を政府に提出 スウェーデン化学物質庁
3. 下水道普及率2012年度には78%へ
4. 第2回国際化学物質管理会議がスイスで開催されました
5. 都有施設におけるアスベスト使用のフォロー調査等の結果について 東京都



今すぐ、結果が知りたい！と思った事ありませんか？ 業界初新サービス、しかも無料！

「あなたの分析室Webシステム」 過去データから最新の分析結果、分析の進捗状況まで
あなたのパソコンからいつでも好きなときにご確認いただけます。
まずは、お問合せください。